



TOEICでは役立たない：



英語力向上の秘訣

渡辺 日出男

だれにでもできる英語力向上の秘訣

渡辺 日出男

本秘訣は、2008年4月15日から連続で私のブログで紹介したものです。

(<http://stratpreneur.chalaza.net/?day=20080415>)

アクセス解析から見ると、10日間で延べ7000人以上の方が読まれたようです。

地球温暖化は、世界の誰もが避けて通れない問題です。

環境問題、政治問題、経済問題で海外メディアに投稿する日本人が増えてくれることを願い、また個人的な趣味で2億人が参加しているというソーシャル・ネットワーク、マイ・スペースなどを通じて世界に輪を広げたい人たちに少しでもお役に立てないだろうかとのお節介(?)から公開したものです。

ブログに手を加えたのは、下記の二つです。末尾に参考としてあります。

本訓練方法が、英文の論理構成とあっていることを説明する「ぶつ切り英語の読み方」、そして、ブログでは触れなかったパソコン利用で英語訓練する人のための「辞書に関する訓練環境」です。

はじめに

1. “英語力”自己診断と“英語に関係ない”自己診断
2. 英語ができる、できないという問題ではない
3. 訓練の前に頭の整理
 - 興味のあるテーマを訓練材料にする
 - 教材選びは大事
 - スラングは覚えようとしなない!
4. 訓練の仕方
 - 目の訓練(1)
 - 目の訓練(2)とテーマ選びのヒント
 - 耳の訓練
5. 英語が分かり、話せるようになる訓練のしかた:まとめ

さいごに

追加:

ぶつ切り英語の読み方
辞書に関する訓練環境

だれにでもできる英語力向上の秘訣(本文)

はじめに

英語ができれば、と思っている人が沢山いるようです。それぞれ、努力していると思います。英会話スクールにも行っているのかもしれませんが。

……でも、なかなか思うようにいかない。

なぜでしょう？

努力が足りないから？ それとも、本気じゃないから？

それもあるでしょう。

でも、その前に……“学び方が悪い！”と考えたことがありますか？

ほとんどの人が、中学校、高校で英語を勉強しましたでしょう。成績、どうでした？

できなかった？

勉強しなかった？

それ、気にしないでください。なぜかって？面白くなかったでしょう？だからです。

大体、英語って勉強するものではありません。

勉強する人は、テストに合格したい人か、将来、英語で身を立てようとする人だけがやれば良いことです。

でも、身を立てたい、とその時点でそう思う人は限られているのではないのでしょうか？

だから、面白くない教科書を、テストに合格したいだけで最低限しかやらないからできなかっただけのこと、と思ってください。

でも、今、英語ができたらなあ、と思っている。どうしてですか？

- とにかく話せるようになりたい。
- 雑誌や新聞を読みたい。
- 海外の好きなアーティストのCDジャケットを読みたい。
- ビジネスを英語でやれるようになりたい。
- マイ・スペースに加入したので、外国人と英語でやりとりしたい。

- 字幕なしで映画を観たい。
- 英語の歌詞を聞き取りたい。

他にも理由があるでしょう。

できます！今からでも遅くはありません。

ただし、これまでの英語の勉強方法はきれいさっぱり忘れてください。今、英会話スクールに通っている人は、どうぞそのまま続けてください。あっという間に、うまくなれます。頭から忘れて欲しいことは；

- 英語を訳すのを止めること。(学校でやった英文和訳というやつです。これが、大きな間違い。百害あって一利なしです。)
- 英作文というのも止めてください。(これも百害だけ。)
- 暗記しようとするのも忘れてください。(時間の無駄です。)

これ、できますか？

それでは、次に信用して欲しいことを言います。

- 脳を信じてください。(あなたの脳です。)
- 目を信じてください。(指先が必要な人も多分指先を信じれば良いとは思いますが、経験がありませんので・・・言わないことにします。)

耳を信じてください、とは言いません。これは目よりもちょっと訓練が必要ですから。これが二つのことの二番目です。

私は30歳のときに米国の会社に転職しましたが、それまで一度も英語をしゃべったことがありませんでした。面接で、ブロークンでも良いですから英語で教えてくださいと人事の人に言われましたが、通訳をお願いして一言も英語は使いませんでした。冗談じゃない、話したこともないのに・・・、とっていましたから。

入社後、勉強(勉強です！)しました。最初はアメリカ口語読本のテープ聞きながら・・・。会社から戻って、毎日2時間ぐらいやりました。必死でしたよ。英会話スクールにも通わされました、全額会社持ちで。最初の5年ぐらいで6-7ヶ所のスクールに行きました。話すようにはなれませんでした。会社でアメリカ人に会うのが嫌でして、一

度エレベーターで一緒になりそうだったので、そのままトイレに直行したことがありました。とにかく、話しかけられると緊張して・・・。

それが、どうしてそれを思いついたのか、“二つのこと”をやってみました。4ヶ月で、突然しゃべれるようになりました。英語が怖くなくなったので、自分でもビックリでした。この二つの方法は、その当時も、ある特殊な人たちがやっていたことが後で分かりました。同時通訳の人たちなどです。断っておきますが、私は同時通訳ができるほど訓練されてはいませんので誤解なさらぬようお願いします。

今、訓練と書きました。

そうです。英語は勉強するのではないのです。訓練です。訓練だから、方法が大事なのです。

もしかすると、私がここで皆さんにお伝えするような学習方法や訓練方法などは既に出版物があるのかもしれませんが、分かりません。あるなら、それをお試してください。以前は、私もいろいろなものを試しましたが、それにはこんなことは書いていませんでした。

ここまで読んで、もっと話を聞いてみたいと思われる方は、次へ行きましょう。

1. “英語力”自己診断と“英語に関係ない”自己診断

最初に、ご自分の英語力がどのぐらいなのか、ご自身でチェックしてください。

次ページから、三つの英文を紹介します。

最初は、X日本のYOSHIKIのマイ・スペースにあるものということです。多分、今年の1月頃のものかなと思いますが、正確には知りません。私は、昨日の夜中にメールで内容を訳してと頼まれたものです。

それぞれの英文を読み終わったら、質問事項があります。それをご自身で考えてください。この質問事項を考えていくと、脳と目を信じてください、という理由が次第に分かるようになります。

現在の“英語力”自己診断と“英語に関係ない”自己診断を同時にやってください。

自己診断 1

Hi everyone!

I just finished writing the end title for the Hollywood movie I've been working on as VUK (Now I have to finish recording it!!).

And I have another deadline for an upcoming Japanese TV film (It's about the Second World War..... and it's a 5 hour film!!!!) by the end of this month..... On top of that..... Some people may already know about it.....

But we just added another day to the X Japan Tokyo Dome shows because of the strong demand..... I think I'm very happy about it, but at the same time I don't know how I'm going to survive for these 3 days (March 28, 29, 30th).

Well, I think that all those songs may turn out to be pretty interesting, and regarding the X Japan shows..... I'll do anything to please our 150,000 dearest fans in the Tokyo Dome. But, to be honest, I'm pretty nervous..... Because of my neck problem and wrist pain.... You know what? At this point I just have to go for it! (Please wish me luck!)

I'm still in LA, and preparing for all those things, and again I'll read all your lovely comments as soon as I find time. Also we'll make some interesting announcements soon.....!

Love,

YOSHIKI

PS

Regarding my neck, I started going to see medical doctors, chiropractors and acupuncturists and..... Well you name it..... I'm doing everything I can to survive those 3 consecutive shows..... And the day before yesterday, one of the doctors put some kind of heated cups on my back to suck my muscles up..... That felt very weird. And now I have bruises on my back..... hmmm looks funny! Ha ha ha.....

Also, X Japan's management asked me to link this:

<http://www.myspace.com/xjapan2008>

We are hoping that some people living outside of Japan can experience X

Japan's Tokyo Dome shows.

Guess what..... I just ate one of the best ICE CREAMS I've ever had, and it's low carb..... I don't think life is that bad.....

Or I should say life is fucking wonderful !!!!!!!

自分が分かるまで(全然、分からないことも含めて。)何度でも読んでください。
ここまでだな、と思ったら、次のページに行ってください。質問事項があります。

質問事項

一度で読み取れた人も、そうでない人も次の質問を考えてください。

- あなたが読む前に、このメールが、“X日本のYOSHIKIからファンの人たちに届いたメールです。”と紹介しました。そのとき、何を考えましたか？
- 最初に読んだときを思い出してください。最初から単語ひとつずつ読んでいきましたか？
- それともざーっと下まで見てみましたか？(読んでみましたか？とは聞いていません。)
- 文章がうまく読み取れないとしても、分かる単語がいくつありましたか？その単語(バラバラに存在しているものでも良いです。)から、何を想像しましたか？

この三つの質問が、英語が読めるようになる、話せるようになる、秘密です。

では、この三つの質問を念頭に、次の診断に進みます。

だれにでもできる英語力向上の秘訣(2)

自己診断 2

The backstory of how Senator Barack Obama's comments about small-town voters became news is getting almost as much attention in the blogosphere as the comments themselves.

Mayhill Fowler, a blogger for OffTheBus.net, a Web site published by Huffington

Post and created by Arianna Huffington and Jay Rosen, was the first to report Mr. Obama's comments — that small-town voters bitter over their economic circumstances, clinging to guns or religion or antipathy to people who aren't like them — as a way to explain their frustrations.

The comments created an instant sensation in the media and Senator Hillary Rodham Clinton seized on them, hoping they would slow Mr. Obama's momentum in the polls against her in Pennsylvania, which votes in 8 days. If Pennsylvania rejects Mr. Obama by a big margin, and voters in Indiana and North Carolina follow suit, the comment could be seen as the game-changer.

Ms. Fowler told me in an interview Sunday night that she was initially reluctant to write about what Mr. Obama had said because she actually supports him -- which partly explains why she was at the fund-raiser in the first place and why there was a four-day delay between the event and the publication of her post. Ultimately, she said, she decided that if she didn't write about it, she wouldn't be worth her salt as a journalist.

Some Obama supporters in the blogosphere were up in arms at Ms. Fowler. They doubt that she really supports Mr. Obama, have called her a plant for Mrs. Clinton and suggested she was deceptive in getting into the fund-raiser.

The whole episode gives a revealing glimpse into yet even more ways in which the Internet is changing the coverage of politics. And Ms. Fowler says she is surprised that she is playing a role in this revolution.

"I'm 61," she said. "I can't believe I would be one of the people who's changing the world of media." But her experience raises questions about whether the roles, rules and expectations for journalists and bloggers are different. Can a person be both? Even Ms. Fowler acknowledged that "clearly everyone is going to be re-thinking how they handle this kind of thing."

YOSHIKIからのメールとは、かなり違う文章だと思いましたか？そこで、自己診断の質問です。

- この文章の出所は何か、想像できますか？

そうです、今日（アメリカでは14日）付けのニューヨーク・タイムズの記事“Blogger Is Surprised by Uproar Over Obama Story, but Not Bitter”（オバマの記事の大騒ぎでブロガー大驚き、でも厳しいものではない）からの最初の部分を抜粋したものです。

- どうも詳しくは分からないが、オバマとクリントンの選挙関係かな？と思いましたか？
- ブロガーやウェブ・サイトという単語が出てきたからインターネットに関するのかな？と思いましたか？

何が何だか分からなかった人も、落胆しないでください。

もうひとつの診断をしてからなぜ分からなかったか、その理由をお話しますから。

それでは、自己診断の最後です。英文だけを表示して、質問以降は、続きを読むに記載しておきます。

これからの予定ですが、明日は、この自己診断の締めくくりとして、訓練に入る前の頭の整理をします。今日と明日は、大事なところですので、しっかりと読んでください。明日は、自己診断で使った英文とその和訳を参考までに示します。

自己診断 3

How easy it is to lash out at the world situation and complain about it, blaming everyone but yourself for it!

It is easy to say, 'Why don't they do something about it?' What about you doing something about it? Never sit back and feel helpless and imagine that you can do nothing to help. You can help and you can start helping right now. You can start by putting your own house in order. You can smooth out all those misunderstandings and try righting those wrongs. You can expand your consciousness so that you are able to see life from a different and wider angle. You can learn to be more tolerant, to be more open, more loving, and to see both sides of the picture. You can start right now banishing all bitterness, criticism, and negativity in your thinking. You will find as you do your part, you will be

helping the whole. But you cannot do it on your own. Do it with My help.

前の記事ほど難しい単語がないと思いますが、いかがでしょう？
それでは、また質問します。

- この文章は、ある本の一ページですが、その本はどのような分野の本か想像できますか？
- 最後の文章の my が My になっています。どういう場合に大文字になるかお分かりですか？
- 文章がやさしい割には、よく読むと理解しにくいところがあると思いませんか？

この文章は、スコットランドのスピリチュアル共同体“フィンドホーン”の設立者で2-3年前にお亡くなりになったアイリーン・キャディという方が書いた“心の扉を開く”という原著からです。50万部売れたものだそうです。一年365日、毎日一ページごとに考えられる文章が書いてあるものです。文章は、今日、4月15日のものです。(From April 15, “Opening Doors Within” by Eileen Caddy)

2. 英語ができる、できないという問題ではありません

自己診断をしていただきました。それぞれどのようにされたか分かりませんが、この典型的に異なる出所からの文章を読んでいただいた私の狙いを述べます。その後で、自己診断をもう一度してください。

どう訓練したら英語が分かるようになるか、答えが見つかると思います。

- 自己診断1で、想像してください、と言いました。皆さんが、“日本語はできるが英語はできない”と思っているのは勘違いです。日本語でも、単語からほとんど無意識のうちに**想像力を駆使**しながら文章を読んでいます。
- 文章は、書いた人のメッセージです。メッセージは、基本的に“感じるもの”です。東京ドーム、3月の日付、など英語ができないと思い込んでいる人でも分かる単語がいくつもありました。ファンに向けたメッセージです。大したことが書いてあるわけではありません。せいぜい近況か公演のお知らせでしょう。**分かる単語から想像した内容**と書いていることが、それほど違っているわけがありません。

後で、私の翻訳を参考までに書いておきますが、細かなところだけが違っているならあなたの英語力、というより想像力はOKですから、そうであれば、英語力は比較的簡単に向上します。

もし、内容が全然分からなかった人がいたとすれば、それはあなたの英語力の問題ではありません。**想像力の問題です。**

あるいは、YOSHIKI という人が何者なのか想像もできなかった人でしょう。この場合、訓練方法が変わると思います。

次に、**NYタイムズの記事**ですが、分からなかった人は、この記事の**背景が分からない**からです。オバマとクリントンが熾烈な民主党の大統領候補争いを繰り広げていることをどの程度ご存知かということです。それで、**想像力は大幅に変わります。**

背景知識がないものは、日本語の新聞を読んで何となく分かったつもりでいますが、実は全然分かっていないことってありませんか。まして、英語です。分かるはずがありません。

言いたいことは、**分からない理由の大半は、英語の問題ではない、**ということです。

この記事の中に、文字化けしているところがありました。

“田 ling to guns or religion or antipathy to people who aren 稚 like them・as a way to explain their frustrations.”

想像力の大事なことを説明する良い例です。この文章で、ガンや宗教(は難しい人もいるかもしれませんが)、とフラストレーションの単語は分かりますね。

全体としてフラストレーションが溜まっていることを訴える方法として、ガンや宗教にすが、あるいは彼らのようでない人々(白人の中流階級のことでしょう)に対して敵意があるみたいなことを書いているのだな、と想像したとします。

そうすると、aren 稚 like は aren't like と分かりますし、単語を知っている人なら、田 ling は cling かもしれないと想像します。でも、そんな推察などしなくとも意味は合っています。

つまり、いくつかの単語など分からなくとも全体の意味は感じるし、それで良いのではありませんか？テストされるわけではないのですから。

英文和訳で悩まされた人は、単語ひとつひとつの意味が分からないと全部分からなくなってしまいます。想像力を働かせて、全体の感じをつかめば、単語の意味も推測で

きます。

この**違いの大きさ**です、知っていただきたいことは。
 これまで習った英文和訳というやり方が、分かる英語のためには害だという意味が分かるでしょうか。

そして、最後の**アイリーン・キャディの文章**です。

難しい単語はあまり使われていません。中には、この文章は分かりやすいという人と難しいという人がいると思います。この本は精神性の本です。
 いいですか、この種の文章は読む人によって理解の差が出る、それは英語を母国語としている人にとっても同じことです。精神世界のことですから・・・。

和訳するのが一番難しいのがこの種のもので。でも、教訓的な言葉、それは世界共通ですから、同時に想像力を働かすこともできる分野でもあります。

私の目的の最後の駄目押しです。

英語が分かるという人に下の文章を読んで貰ってください。ほとんどの人は分からないと思います。訳せても分からない。

アインシュタイン、原子、相対性理論、量子力学、宇宙の拡張、誤差要因、静止状態、はじめと終わり。こんな単語が並んでいます。

100 years ago, Albert Einstein published three papers that rocked the world. These papers proved the existence of the atom, introduced the theory of relativity, and described quantum mechanics. His equations for relativity indicated that the universe was expanding. This bothered him, because if it was expanding, it must have had a beginning and a beginner. Since neither of these appealed to him, Einstein introduced a 'fudge factor' that ensured a 'steady state' universe, one that had no beginning or end.

(100 年前、アルバート・アインシュタインは世界を凍りつかせた三つの論文を発表しました。原子の存在を証明したもの、相対性理論を紹介したもの、そして量子力学を説明したものです。

相対性理論の方程式は、宇宙が拡大していることを指摘するもので、実は、彼はこれに悩んでいました。もし、拡大しているとすれば、宇宙には、はじめがあり、はじまりを作った何かが必要ならぬからです。この考えにぴんとくるものがなかったので、アインシュタインは、はじめも終わりもない'安定状態'を持ち込み、理論を確実にする'誤差要因'という考え方を提起しました。)

私は、たまたまこの難しい単語を知っていましたが、訳せても、意味は何となく分かる程度です。この日本語を説明しろと言われてもできません。この意味が本当に分かる人は物理学をきちんとやっている人だけでしょう。そういう人は、逆に、文章を読めなくとも、単語だけで内容まで推測してしまうと思います。

繰り返しますが、英語ができる、できないという問題ではありません。訳せる、訳せないという問題でもありません。

今日お話したことをしっかりと頭に入れてください。明日は、最後の頭の整理です。

3. 訓練の前に頭の整理

今日は、頭の整理の最終回です。前回と今回は、ちょっと我慢して読んでください。

● 興味のあるテーマを訓練材料にする

“自分の知らない分野や興味のない分野で英語を訓練しようとしてもほとんど無駄”、です。自分がよく知っている分野の英語で訓練した方が、はるかに効率的です。それぞれの分野には、特有の単語や言葉、そして言い回しがあります。経理に興味ない人や仕事で使わない人が、経理関係の英文を読んでも、何の役にも立たない。アロマセラピーに興味のある人は、日本語での知識はあるでしょうから、その英文を使って、徹底的にやったほうが良い。スピリチュアルについて日本語の本を読んでいるなら、その分野の英文を読めば良い。スポーツなら、スポーツ。科学なら、科学。環境なら、環境。という具合に。ビジネスなら、自分の守備範囲の分野のもの、と新聞。

構文は、どんな分野でも共通ですから、想像力をはたらかせる自分の得意な分野に絞ってやれば、他の分野で頻繁に使われる単語さえを憶えれば他の分野だって読めるようになります。

それから、ビジネスパーソンでなくとも、日本の新聞はできるだけ読んでおくことが必要です。私が薦める耳の訓練のためです。

- 教材選びは大事

私も、いろいろな教材を使いました。海外で病気になったとき、会議で使う英語、商用文の書き方、時事英語の読み方、会話では、オフィス英語、海外旅行会話、挙げたらきりがありません。

全部、駄目でした。

アメリカ口語読本のことをお話しましたが、半年ぐらいやって、こりゃ駄目だ、と思ったのが、例えば、“大島に行くのに飛行機で行きましたか、船で行きましたか？”などをテープで何度も、何度も聞きながら練習するのです。

そのうち、こう思いました。こんなことやっていたら、頭がバカになってしまう、と。これ、本当ですよ。本当に、バカになります。(今でも後遺症あり???)

会話スクールでもいろいろなことやりました。自由会話とか新聞の記事をテーマにして会話するとか・・・、単に教材でなく。

一年ぐらい前、知り合いの人に会話教材を一緒に探してくれと頼まれて、紀伊国屋や八重洲ブックセンターで探しました。

女性ですけど、ビジネス英語をやりたいということでした。CDつきの教材です。電話での受け答えやなにやらかや・・・

こんなもの駄目だから、って言っても聴く耳持たず・・・。しょうがないから、少しはましかな、と思うものを二人で選びました。

今でも会話スクールに行っています。

結果・・・依然と同じ程度。

あなたは、陶器が好きなのだから、陶器関係のサイトから、良い文章を見つけてあげるから、それを読みなさい、と言っても、“読むのはいや！私はビジネス英語を覚えたい！”

そんなら、新聞の記事で合うやつを探してあげるから、と言うと、“新聞は難しすぎる！！！”

大体、ビジネス英語なんて、ないのです。皆さん、会社で話す言葉は普通の日本語で

しょう。あるのは、分野だけ。知らない分野のことは日本語でも、英語でも分からない、と言った分野のことです。分野ごとに特殊な単語があるだけです。

もうひとつ、商用文の書き方というやつ。私、アメリカの会社に勤めていました。今でも、時々ですけど、海外の会社の人と手紙をやりとりします。あんな“商用文の書き方”にあるかしこまった英語で手紙など絶対、絶対、書きません。私だけがではありません、相手もです。

話すように書けば良いだけです。言いたいことを要領よく。あとは丁寧に。丁寧にするのは、文法の簡単なことを憶えるだけ。極端に言えば、Would, could, should,などの正しい使い方を憶えるだけで十分かもしれません。

英作文、という構えるでしょう。

構えたら、もう書けなくなる。

それが、話し言葉にも出る。

“What is your name?” と聞かれると、必ず、My name is・・・,とくる。学校でそう習ったから。他の人の名前を聞かれているわけではないから、自分の名前を言うだけで良いでしょう。ぶっきらぼうに言いたい気持ちのときは、ぶっきらぼうに、丁寧に言うときは、にこっ、と笑って。

なぜ、こんなことをいふかと言いますとね、すぐに名前を答えるときと違って、あなたの頭の中で、一度、必ず、“My name is ……” つぶやいていますでしょう。それを頭に記憶させてから、それを引き出そうとする。だから、反応が遅くなるし、にこっ、とできなくなる。お分かりですか？

英作文を忘れてくださいというのは、これが理由です。

そして、話すとおりに書ける。これ日本語でも一緒じゃないですか？

- **スラングは覚えようとしなない！**

黒人のスラングが格好よいから覚えたいという人は、私の秘訣をやってみようという対象ではありません。

大体、ネイティブになりたいわけではないでしょう。

なれるわけでもない。

自分の言いたいことがきちんと伝わって、相手の言いたいことが分かれば良いのです

よね。

外国人の人が、日本語で普通の人がめったに使わない言葉を使うと、“何だ？この人？”と思うことありませんか？どこか変でしょう。

あなたが、そういう言葉を使えば、相手もそう思います。そして、品がない。

スラングを覚えたい、とあなたが決心すれば、英語の訓練のもうひとつの壁がなくなります。(これ、大事なノウハウです。)

大体、あなたが会う人は、ごく普通の人でしょうから、品のない言葉は使いません。そういう言葉を使う人とは話す必要がない！

そういう言葉が好きで、好きで、という人は、アメリカならアメリカでそういう人たちの住むところに行けば良いし、必然的に覚えられると思います。

ここまでで、頭の整理はおしまい。

次回から、具体的な訓練方法を3回に分けてお話します。(明日中にまとめてアップします。)

最後に、診断で使った、例文の私流の和訳を紹介しておきます。

私はプロの翻訳家ではありませんから、下手な日本語で恐縮です。

翻訳はかなり特殊な能力が要求されると思います。英語をそのとおりに訳していたら、まともな日本語になりません。

自動翻訳機が使い物にならないのは、そういう理由です。

英語がかなり分かっていても翻訳は別問題ということだけは憶えていてください。学校で習った英文和訳などで処理できるものではありません。

プロの翻訳家は本当にすごいと思います。

YOSHIKI のメールと和訳

Hi everyone!

I just finished writing the end title for the Hollywood movie I've been working on

as VUK (Now I have to finish recording it!!).

And I have another deadline for an upcoming Japanese TV film (It's about the Second World War..... and it's a 5 hour film!!!!!!) by the end of this month..... On top of that..... Some people may already know about it.....

But we just added another day to the X Japan Tokyo Dome shows because of the strong demand..... I think I'm very happy about it, but at the same time I don't know how I'm going to survive for these 3 days (March 28, 29, 30th).

Well, I think that all those songs may turn out to be pretty interesting, and regarding the X Japan shows..... I'll do anything to please our 150,000 dearest fans in the Tokyo Dome. But, to be honest, I'm pretty nervous..... Because of my neck problem and wrist pain.... You know what? At this point I just have to go for it! (Please wish me luck!)

I'm still in LA, and preparing for all those things, and again I'll read all your lovely comments as soon as I find time. Also we'll make some interesting announcements soon.....!

Love,

YOSHIKI

PS

Regarding my neck, I started going to see medical doctors, chiropractors and acupuncturists and..... Well you name it..... I'm doing everything I can to survive those 3 consecutive shows..... And the day before yesterday, one of the doctors put some kind of heated cups on my back to suck my muscles up..... That felt very weird. And now I have bruises on my back..... hmmm looks funny! Ha ha ha.....

Also, X Japan's management asked me to link this:

<http://www.myspace.com/xjapan2008>

We are hoping that some people living outside of Japan can experience X Japan's Tokyo Dome shows.

Guess what..... I just ate one of the best ICE CREAMS I've ever had, and it's low carb..... I don't think life is that bad.....

Or I should say life is fucking wonderful !!!!!!!

和訳

ハイ、みなさん、

VUK(録音を終えなきゃならない！！)として仕事をしているハリウッド映画のエンド・タイトルを書き上げたところ。

そしてね、今月の終わりがデッド・ラインの日本のテレビ映画(第二次世界大戦もの映画で、5時間ものだ！！！！)の仕事もある…その上…知っている人もいると思うけど…。

要望が多くて、X ジャパン東京ドームのショーにね、もう一日加えたところなんだ…うれしいけど同時にね、その3日間(3月28、29、30日)、生きていられるのかな～って(心配)。

まあ、やっている歌は全部面白いものになると思うし、それにXジャパンのショーだけ…東京ドームに来る15万人の愛するファンに楽しんでもらうために何でもするつもりでいます。でも、正直、ちょっと心配…、首の問題と手首に痛みがあるから…。分かるでしょう？ でも、今はがんばらなくっちゃ！(幸運を祈ってください！)

まだロスにいて、今言ったこと全部の準備をしているところ。早く時間をひねり出してみんなからももらった嬉しいコメントを読みますからね。
それから、近々また喜んでもらえる発表もあるはずですよ～。

Love,

YOSHIKI

追伸

首のことですけど、お医者さん、カイロプラクティスと針に行くことにしました。…それと、何と言えよいのかわからないけど…その3日間のショーを乗り切るためにできることは何でもするつもり…一昨日のことなんだけど、ひとりのお医者さんが、何か知らないけど暖めたカップみたいなものを背中に当てて、筋肉を吸い上げた…気味悪かった。背中にあざができているんだ…おかしいでしょう。ハッ、ハッ、ハー…

それに、X日本のマネージャーさんから、ここにリンクしてって頼まれました。

<http://www.myspace.com/xjapan2008>

海外に住んでいる人にもね、東京ドーム公演に来てくれるよう期待しています。

聞いてくれる……今まで食べたことがない最高のアイスクリームを食べたところだよ。甘味抑えた低カロリーの……人生も悪いものじゃないって思うよ……いや、こう言うべきかもね、人生はめっちゃ最高だ！！！！って。

NYタイムズ記事と和訳

The backstory of how Senator Barack Obama's comments about small-town voters became news is getting almost as much attention in the blogosphere as the comments themselves.

Mayhill Fowler, a blogger for OffTheBus.net, a Web site published by Huffington Post and created by Arianna Huffington and Jay Rosen, was the first to report Mr. Obama's comments — that small-town voters bitter over their economic circumstances, 田 ling to guns or religion or antipathy to people who aren 稚 like them• as a way to explain their frustrations.

The comments created an instant sensation in the media and Senator Hillary Rodham Clinton seized on them, hoping they would slow Mr. Obama's momentum in the polls against her in Pennsylvania, which votes in 8 days. If Pennsylvania rejects Mr. Obama by a big margin, and voters in Indiana and North Carolina follow suit, the comment could be seen as the game-changer.

Ms. Fowler told me in an interview Sunday night that she was initially reluctant to write about what Mr. Obama had said because she actually supports him -- which partly explains why she was at the fund-raiser in the first place and why there was a four-day delay between the event and the publication of her post. Ultimately, she said, she decided that if she didn't write about it, she wouldn't be worth her salt as a journalist.

Some Obama supporters in the blogosphere were up in arms at Ms. Fowler. They doubt that she really supports Mr. Obama, have called her a plant for Mrs. Clinton and suggested she was deceptive in getting into the fund-raiser.

The whole episode gives a revealing glimpse into yet even more ways in which the Internet is changing the coverage of politics. And Ms. Fowler says she is surprised that she is playing a role in this revolution.

"I'm 61," she said. "I can't believe I would be one of the people who's changing the world of media." But her experience raises questions about whether the roles, rules and expectations for journalists and bloggers are different. Can a person be both? Even Ms. Fowler acknowledged that "clearly everyone is going to be re-thinking how they handle this kind of thing."

和訳

バラック・オバマ上院議員の小都市選挙民に対するコメントがどのようにしてニュースになったかという裏話がブログの世界でコメントと同じように注目を集めている。アリアンナ・ハフフィンとジェイ・ローゼンによって設立されたハフフィン・ポストが提供するウェブ・サイト、オフ・ザ・バスのブロガー、メイヒル・ファウラーが、“武器依存、宗教依存、また、彼らのようでない人々(中流階層)に対する反感は、小都市選挙民が置かれた厳しい経済状況による欲求不満を表す方法として捉えることができる、”というオバマ氏のコメントを最初に報道した。

そのコメントは瞬く間にメディアに広がり、またヒラリー・クリントン上院議員が、8日後に迫ったペンシルバニア州での世論調査の劣勢を覆す絶好のチャンスとばかりにそのコメントに飛びついたために大騒ぎになった。

ファウラー女史は、日曜の夜のインタビューで、彼女がオバマ氏支持者なので、初めは彼の言ったことを書くのに躊躇したと私に語った。女史が支持者だというのは、資金調達集会にいたことや彼女の投稿がコメントのあった日から4日も遅れたことからある程度理解できる。

考えた結果、もし書かなければジャーナリストとしてピリッとしていないことになると思ったからだ、と語った。ブログ世界のオバマ支持者の人々の中には、ファウラー女史に憤慨している人もいる。彼らは、彼女が本当にオバマ氏を支持しているのか、資金調達集会に紛れ込んだクリントン氏の回し者と呼ぶ人さえいる。

この出来事は、これからますますそうなるのだろうが、インターネットが政治報道を変えていく状況を目の当たりに見るものである。

ファウラー女史は、このような変革の中で役割を演じたことに驚いていると言う。

“私は61歳ですよ、”と彼女は語った。“私がメディアの世界を変えている人たちのひとりなどと信じられません。”

しかし、彼女の今回のケースは、ジャーナリストとブロガーの役割、従うべきルール、

そしてそれぞれに対する期待が異なるのかどうか、さまざまな疑問を投げかける。ファウラー女史でさえ、“だれでも、今回の類のことをどう処理すべきなのか考え直すことになるのは明らかでしょう。”と同じ考えであることを認めている。

アイリーン・キャディの言葉と和訳

How easy it is to lash out at the world situation and complain about it, blaming everyone but yourself for it!

It is easy to say, 'Why don't they do something about it?' What about you doing something about it? Never sit back and feel helpless and imagine that you can do nothing to help. You can help and you can start helping right now. You can start by putting your own house in order. You can smooth out all those misunderstandings and try righting those wrongs. You can expand your consciousness so that you are able to see life from a different and wider angle. You can learn to be more tolerant, to be more open, more loving, and to see both sides of the picture. You can start right now banishing all bitterness, criticism, and negativity in your thinking. You will find as you do your part, you will be helping the whole. But you cannot do it on your own. Do it with My help.

和訳

自分を脇に置いて、人々を責め、世間の状況を非難し、ぶつぶつ文句を言うことはいとも簡単なことだ。こう言うのも簡単だ、'なぜ何か手を打たないのか？'

あなたが“何か手を打つ”というのはどうか？

座ったままで何もせず、無力感で、助けることは何もないと、けっして考えてはならない。あなたは助けることができる、そして今すぐそれをはじめることができる。

自分の家を整理することからはじめることができる。

あなたは、それらに誤解があれば、それを整理することができる、そして誤りがあればそれを正そうとすることができる。

人生をそれまでとは違った角度からもっと広く捉えることができるように、意識を拡げることができる。

もっと寛容に、もっとオープンに、もっと愛を持って、そして問題を両面から見ることを学ぶことができる。

あなたの考えの中に潜んでいる敵意、批判、否定の気持ちを払いのけることを今すぐ始めることができる。

自分自身のやるべきパートを行えば、それが全体を助けていることになることが分かる。しかし、自分だけであることはできない。私の助けを得てやりなさい。

この和訳を読んで、また、自己診断で質問事項を思い出して読んでみることをお勧めします。一度、この訳文を読んでも憶えられるものではないでしょう。概要だけ何となく憶えているだけですから、それを背景知識として、もう一度最初から試して、今度はどうなるかご確認ください。

5. 訓練の仕方

● 目の訓練(1)

下の文章を参考にしながら、これから具体的な訓練方法を述べます。意味が分からない方が都合良いのですが……。

最初のパラグラフだけを読めようが読めまいが、とにかく読んでください。残りは、やらなくて結構です。

Influential commentators writing in The Times have helped to shape government policy for years. But this is surely the first time that a minister has been forced by a restaurant critic to call for action.

For make no mistake, this is all my doing. Since I first made my stand against bottled water in 2006 – incorporating penalty points for serving it into my restaurant ratings, vilifying its producers and mocking its consumers – consumption of the stuff has plummeted (probably). Far more restaurants than ever before offer tap water first and then bottled only as the Bling-Bling alternative. Punters who opt for the Perrier or Badoit now do so with a blush and an apology to diners at the next table.

In 2008 drinkers of bottled water are the new smokers.

Mineral water is a preposterous vanity. It is flown and shipped around the world, from France and Norway at best, from Japan and Fiji at worst. It is bottled in glass that is mostly thrown away and is stupidly heavy to freight, or in plastic that never decomposes and just goes to landfill or ends up in an ocean “plastic

patch" the size of Texas.

読みましたか。単語を最初からひとつずつ読みましたね。

今度は、太字のところを読まないでひと目で見てください。読んでは駄目です。見る。次に、太字じゃないところをひと目で見てください。

次の行に行って同じ事をやってください。最後まで。

Influential commentators writing in The Times have helped to
shape government policy for years. But this is surely the first
time that a minister has been forced by a restaurant critic
to call for action.

目が流れるようでしたら、首を振っても構いません。私は、1、2、というリズムを取りながら真ん中、真ん中、という動かし方をやりました。できたら、だんだん早く動かします。

同じように。今度はちょっと長い残りをやります。

For make no mistake, this is all my doing. Since I first made
my stand against bottled water in 2006 – incorporating penalty
points for serving it into my restaurant ratings, vilifying
its producers and mocking its consumers – consumption of the
stuff has plummeted (probably). Far more restaurants than ever
before offer tap water first and then bottled only as the
Bling-Bling alternative. Punters who opt for the Perrier or
Badoit now do so with a blush and an apology to diners at the
next table.

In 2008 drinkers of bottled water are the new smokers.

Mineral water is a preposterous vanity. It is flown and shipped
around the world, from France and Norway at best, from Japan
and Fiji at worst. It is bottled in glass that is mostly thrown
away and is stupidly heavy to freight, or in plastic that never

**decomposes and just goes to landfill or ends up in an ocean
“plastic patch” the size of Texas.**

もう一度、もっと早く目を動かします。やってみてください。意味など分からなくて結構です。英語をちょっと分かる人は、なぜハイフンのところで分かれるのだ、ワンワードじゃないか、というかもしれませんが、気にしないでください。これ、目の動かし方の訓練ですから。何度でもやってみてください。

次に、一行、全部見てください。左から読まないで、文章の真ん中ぐらいに視点を置いて。そして、一行ずつ下がっていきます。

Influential commentators writing in The Times have helped to shape government policy for years. But this is surely the first time that a minister has been forced by a restaurant critic to call for action.

For make no mistake, this is all my doing. Since I first made my stand against bottled water in 2006 – incorporating penalty points for serving it into my restaurant ratings, vilifying its producers and mocking its consumers – consumption of the stuff has plummeted (probably). Far more restaurants than ever before offer tap water first and then bottled only as the Bling-Bling alternative. Punters who opt for the Perrier or Badoit now do so with a blush and an apology to diners at the next table.

(ワードからHTMLに貼り付けていますので、完全に一行になっていないところもあります。どうもすみません。)

これは、すこし難しいでしょう？

難しいとおもう方は、半分、半分で結構です。慣れると一行全部目に入ります。

今日は、ここまでです。意味が全然分からなかった。それでいいです。

さらに訓練を続けると、一行が二行になり、三行になり、やがて、パラグラフ全体が目
に飛び込んでくるようになります。そこまでは、誰でもできるようになります。

これは、訓練を怠ると、また、最初から一語、一語、目で追うことに逆もどりで

私は、ピーク時(30代の中ごろ)で、一週間に一度ずつ集中してやって、3ヶ月(つまり、
12回)で、パラグラフまででした。

一ページ全部入る人がいるそうです。速読の達人ですね。

英語が少しでも分かる人は、この訓練をやっても自動的に意識で読み取ろうとしてしま
いますので、動きが遅くなります。(長い間、この訓練をしなかった今の自分がそう
です。)

だから、意識して意味を取ろうとしない方が良いです。まず、スピードを上げる。視覚と
脳を信じてください、というのはここです。

ちなみに、これは今年2月16日のロンドンのザ・タイムズの記事です。イギリス政府
の環境大臣が、ペットボトルの水を飲むのは、環境に良くないから水道水を飲め、と
言って、ちょっとした騒ぎになりました。この記事を書いたのは、この新聞に定期的に
寄稿するブロガー・ライターで、若いレストラン評論家です。

政府を動かしたのは私だ、と自慢げに書いている記事です。

● 目の訓練(2)とテーマ選びのヒント

昨日の目の訓練の続きを、分野が異なる文章で練習してください。分野は以下の通り
です。意味は分からなくとも結構ですから、全部やる人はやる、分野を選ぶ人は、そ
れでやってみる、という風に自由におやりください。半分ずつ見る、一行全部でもお好
きにどうぞ。読まないように！それだけ注意してください。サーフィン、どこかの専門
サイトからですが、後は全部、NYタイムズからです。昨日のホヤホヤもあります。

- 環境とセラピー
- 環境と肉
- 消費者とエコ
- エコと子供
- ビジネス:マイクロソフト対ヤフー
- ミュージック
- 大リーグ:ヤンキース
- サーフィン
- ビジネス:デルタ航空の買収

(環境とセラピー)

For people who feel an acute unease about the future of the planet, a small but growing number of psychotherapists now offer a treatment designed to reduce worries as well as carbon footprints: ecopsychology.

Like traditional therapy, ecopsychology examines personal interactions and family systems, while also encouraging patients to develop a relationship to nature.

"Global warming has added an extra layer of anxiety to what people are already feeling," said Sandy Shulmire of Portland, Ore., a psychologist and practitioner of ecopsychology.

(環境と肉)

Americans eat about the same amount of meat as we have for some time, about eight ounces a day, roughly twice the global average. At about 5 percent of the world's population, we "process" (that is, grow and kill) nearly 10 billion animals a year, more than 15 percent of the world's total.

But consider: an estimated 30 percent of the earth's ice-free land is directly or indirectly involved in livestock production, according to the United Nation's Food and Agriculture Organization, which also estimates that livestock production generates nearly a fifth of the world's greenhouse gases — more than transportation.

(消費者とエコ)

Anna is confused. She loves shopping and holidays, and since green became the new black, she has been rigorously exercising her credentials as an eco-conscious consumer. She insists that only GM-free food passes her lips and uses Jo Wood Organics beauty products. She's feeling smug that her Beyond Skin kitten heels mean she can give up wearing leather but still look stylish, and she adores her ethically made Adili silk dress. Last summer, she even took her family on holiday by train to the south of France instead of flying, and because she's feeling a bit self-conscious about her Toyota Land Cruiser outside the school gates, she's decided to trade it in for a petrol-electric hybrid Prius. And yet, as she stuffs an eco pamphlet savagely into her recycling box, she cannot shrug off a certain despondency about the green movement. "I'm trying to do my best to be green, but I'm being constantly hectored about the choices I make, which irritates me. I recycle, I always buy organic and have horrible energy-saving light bulbs. I can't really see how it's going to make that much difference to the ice caps, but at least I'm doing my bit, aren't I?"

(エコと子供)

Shaina Forsman, a 13-year-old daughter of eco-mother Beth Forsman, said the alliance branch in San Rafael helped her mother take action at home. Her mother turned the thermostat down so low that Shaina sometimes wore a jacket inside, she said proudly. She was also monitoring time spent in the shower, so as not to waste water. Shaina said she tried to get her mother to compost, but "we got ants."

(マイクロソフト対ヤフー)

The shareholders, to be sure, will collect their payment, but Microsoft will mostly likely need to craft a package of financial incentives to prevent talented engineers and managers from hopping to other jobs in Silicon Valley.

The employee retention program could be expensive, perhaps costing billions of dollars, based on what Microsoft did when it acquired another technology company last year.

A look at that deal suggests how much people are the vital assets in companies that mainly generate ideas that become software and Web services. The hidden

cost of “flight insurance” against employee defections may also be a reason Microsoft has resisted raising its bid.

Microsoft last May bought Tellme Networks, a maker of voice-recognition software used in directory assistance and for searching the Internet to retrieve consumer and local business information using a cellphone. Microsoft paid \$800 million for the private company in Mountain View, Calif., but put in another \$100 million for employee retention programs, according to two people close to Microsoft. The \$100 million for worker retention packages has not been reported before.

(ミュージック)

On screen the actress Zooey Deschanel is often cast as the quirky naïf or the ironic wit, the kind of character too flustered or too eye-rollingly impatient to multitask. But in real life Ms. Deschanel is a natural hyphenate, an actress-musician-crafty girl.

Now she is showcasing her harmony-loving side in a new band, She & Him, with the singer-songwriter-guitarist M. Ward. Their debut album, “Volume One,” is a collection of vintage-sounding country-tinged songs written mostly by Ms. Deschanel and produced by Mr. Ward. Released last month on the indie label Merge Records, it has received surprised acclaim from magazines and blogs alike. (The duo begin a brief tour with sold-out shows at Hiro Ballroom in New York next Monday and Tuesday.)

(M. Ward and Zooey Deschanel performing as She & Him at the Great American Music Hall in San Francisco last month, supporting their new album.)

(ヤンキース)

Wang was seeking his 50th career win in his 84th career start. The last pitcher to win 50 games faster was Dwight Gooden, in his incandescent days with the Mets. Gooden earned his 50th victory in his 82nd start, in 1986.

But Wang was not sharp. After tossing a two-hit complete game at Fenway Park last Friday, he allowed eight runs and nine hits in four innings. Manager Joe Girardi said Wang's pitches were too low early in the game, and then they were too high.

“They didn’t swing at the first pitch; they waited for the high pitches,” Wang said,

adding later, "I couldn't find the strike zone."

The Red Sox scored in the first on a double by Manny Ramírez, who is hitting an otherworldly .473 off the Yankees since the start of the 2006 season. But a two-run homer by Bobby Abreu gave the Yankees a lead in the bottom of the inning, and Alex Rodriguez followed by launching a Clay Buchholz fastball into history.

(サーフィン)

As competitors revelled in the near perfect 3-metre conditions, high scores, big moves and electrifying surfing was plentiful.

None more impressive was ASP World Tour surfer Jay Thompson (Burleigh, QLD) who accumulated the highest heat score of the event, thus far, with an awesome 17.33 (out of a possible 20).

"It's pretty solid out there today, but it was really good and fun conditions," he said.

"I didn't bring any big boards so I spent yesterday on the phone trying to scrounge around for a big enough board for my heat this morning."

Thompson, who looked extremely polished throughout his heat, said he was using the event to help regain his confidence going into the rest of the ASP World Tour for 2008.

(ビジネス:デルタ航空)

Delta Air Lines and Northwest Airlines agreed to merge late Monday, in a \$3.1 billion deal that would create the world's biggest airline and could prompt other airlines to pursue mergers of their own.

The deal could be followed quickly by another, airline executives and industry analysts said. A leading candidate is a combination of United Airlines and Continental Airlines, which have explored the idea. The airlines now may try to get the deal wrapped up within the next 30 days, a person with direct knowledge of the negotiations said Monday night. He spoke on condition of anonymity because the talks are private.

The Delta-Northwest agreement came despite failed efforts to get pilots at both

airlines to agree on how to combine their own ranks, an issue that could lead to labor unrest and disruptions to flight operations in the coming years. Northwest pilots immediately said they would oppose the deal.

お疲れ様でした。

明日は、最終回です。“耳の訓練の方法”と“まとめ”を述べます。
ここまでお読みいただきましてありがとうございました。

最終回です。

● 耳の訓練

ヘッドフォンをお持ちですか？耳に差し込むやつでもOKです。

FEN(米軍極東放送)を聞ける地域にお住みですか？(そうでなければ、テレビのCNNニュースでも結構ですが、画面は見ないでください。)

FENは毎時、5分のニュース放送があります。夕方6時などは15分ですが、この訓練の15分は長すぎるので、その時は5分ぐらいで止めた方が良いでしょう。

ヘッドフォンを着用して、聞きます、が、そのときはっきりと声を出して聞いたとおり言葉を出してください。(はっきり声を出すこと。これが、秘訣です。)

1. はじめは、聞き取れないと思います。聞き取れるのは文章の最後の単語だけかもしれません。
2. 聞き取れなくとも、スピードについていって声を出してください。はっきりと。もぐもぐは駄目です。(はっきりついていっても横で誰かが聞けば大きなもぐもぐですから、ひとり住まいの人に有利???)
3. これ、黙って、何日間か何週間か続けてください。騙されたと思ってやってください。
4. そうすると、単語がひとつずつばらばらに聞こえてくるときが、突然やってきます。やり～です。でも、意味は分からない。それでもいいのです。単語が、離れて聞こえてくるのが目的です。
5. 以前、ヒアリング・マラソンで1000時間聞くと、ヒアリングが良くなる、というのが

ありました。聞くだけで、分かるようになる、オーウェンの顔写真の教材もありました。やった人を沢山知っています。効き目は???。声を出さないからです。

6. 声を出してスピードについていくのは、ものすごい集中力を要します。だから、15分は続かない。CNNでやる人は画面を見ないでください、というのは集中力が分散するからです。(この5分間はウェイク・ボードの15分より疲れる?)

耳の訓練はこれだけです。これだけ。

でも、言っていることが分からないから……。

そこで、まとめを述べます。

5. 英語が分かり、話せるようになる訓練のしかた:まとめ

1. とにかく耳の訓練はやってください。今通っているなら、英会話スクールの効果があがりますから。
2. 日本の新聞の海外ニュースをできるだけ読むようにしてください。これは、FENでの訓練に必須です。さらに、目の訓練の想像力にも必要です。米軍が関与するもの、世界や米国で話題になっている記事を重点的に……。
3. ニューヨーク・タイムズ(<http://www.nytimes.com/>)の記事が無料で読めます。登録すれば、メールで毎日、今日はこんな記事ですというのが送られてきます。無料なのにいろいろ便利なことがあるので、登録してみてもいいでしょうか? NYタイムズにする理由は耳の訓練でFENを想定しているからです。
4. その中から、好きな分野をワードにコピーします。画面でやっても良いですが、多分集中が落ちると思います。
5. そのコピーしたものを、目の訓練でしたように、想像力を働かせて早見する。くどいようですが、読まないでください。できれば時間を計った方が良いですが、それはお好きなように。その時点で単語を調べてはいけません。そんなことをやっていては、すぐ嫌になる。単語がまったく知らなければ、どうにもなりません。普通そんなことはないでしょう。とにかく早く全体を見ること。脳を信じてくださいと言いました。脳は不思議なもので、何に関する記事か既に脳は知っています。あなたが選んだのですから。その上、脳が記憶している単語に視覚が会うと、勝手に脳が働いて想像力がはたらきます。何度か見て、それ以上想像力が湧かなくなった時点で、ひとまずお終い。
6. そこで、改めて、想像した内容を反芻してみる。それから、文書に何度も出てきた

単語で、これはこういう意味ではないか、と思うものがあるはずですから、それを、最初に辞書で調べてください。大体、合っていれば、自分はずごい、と思ってください。

7. 後は、辞書を使って訳そうが、他の記事に進もうが、どちらでも。ただ、訳すときにはけっして英文和訳をしないようにしてください。時間がかかって嫌になります。内容だけつかめれば良い。

以上ですが、興味のあることを選んで、想像力をはたらかせて、できるだけ沢山インプットすること。そうすると**自然に読めるようになります**。

知識が増えますから、単語が分離して聞こえてくるようになったFENが聞き取れるようになります。

イギリス英語をどうしても、という方は、似たような方法を探せば良いですが、FENは米語ですので、ここではNYタイムズにしました。

ロンドンのザ・タイムズはすばらしい新聞ですが、イギリス文化というのか、皮肉っぽい言い回しや逆説的言い回し、そしてそれこそ英国に住んでいなければ分からないようなジョークが頻繁に出てきますので、その意味で私には難しいです。ロンドンに3ヶ月ほど住んだことがあります、それも結局は慣れの問題です。最初、お前ずごいアメリカ・アクセントだな、って言われました。

それから、自己診断にあったアイリーン・キャディの本は**速読には不向き**です。私は、精神修養のために今年の元旦から一日も欠かさず今日まで、私の日本語に訳したものを別ブログに掲載しています。一種の写経みたいなものです。日本語版もあります。それには、**霊**という言葉が出てきますので、なぜかそこで思考がストップしてしまいました。多分、spirit のことだろうと思い、原書ではどうなっているのか知りたかったのが動機で、最初は恐る恐るみたいな感じがあったのですが・・・。

全然、違っていました。宗教とも言えないと思います。

スピリチャルの意味も少しずつ分かってきているように思っています。何よりも自分の未熟さを悟られることが多いのと落ち込んだときでも**勇気が湧きます**。

今回、自分の経験から得た英語の訓練方法を公開したのも、実は、アイリーンの本が原因です。本の中に、自分の持っているものは全部吐き出せ、貯めるな、と何度もありました。自分に一体何があるのだろう、と考えて、ふと、こんなことでも誰かに役に立つかもしれないと思ったからです。

ご存知のことと思いますが、言葉はあくまでも手段です。その手段で何をやりたいのか？ それを見極めた方が良くと思います。

さいごに

私は、昨年の夏過ぎから、地球温暖化と世界の水問題を中心に、新聞、国連、NGO、それらが引用する研究報告などを読み漁っています。

“知りたい”からです。日本語でも良いじゃないか、とおっしゃる方もいるでしょうが、情報量が圧倒的に違います。

4ヶ月前、carbon foot printという言葉に出会ったとき、何だろうと思いました。炭素の足跡です、そのまま訳せば。でも意味が分からない。いろんな記事に頻繁に出てきますから、そのうち、知識まで(単語の意味ではありません)どんどん広がってきました。4ヶ月前なら、温暖化について人と話すまでの知識はありませんでした。相手が、日本人であろうと外国人であろうと。

今なら、意見を言い交わすことができます。大して深くはないかもしれませんが、相応の知識を得たと思いますので、自分の考えも、意見もあります。

オーシャンズ12という映画がありますが、ご覧になりましたか？

その中に、素敵な女優さん(名前覚えていません。)がラヒリという泥棒専門の捜査官を演じたのですが、ヨーロッパの警察官の会議(Europole)で演説する場面があります。「優秀(?)な大泥棒は、職を持ち、普通の市民の生活をしているから見つけるのが難しい、われわれは自分自身を訓練しなければならない。(確か、We must train ourselves.)」と言い、そして、その後、Think as they think, see as they see. と 言ったと思います。

英作文をやると、まず、日本語を考え、和英辞書を調べ、単語をこねくり回します(自分の経験です)。その結果、使う単語は、自分の発明(???)。

単語は; “Use as they use.”です。

そして、もうひとつ。地球温暖化は、世界中の誰も、誰ひとり経験したことがありません。教えてくれる人がいません。先生も生徒もいません。それぞれ各人が、手探りで学ばなければならない。実際、世界中がそうなのです、今は。

残念ながら、国連の報告は、京都議定書を除いてはすべての公文書が英語です。(京都議定書は、開催国が日本語でしたので、英語と日本語が正式の文書になって

います。) しかも、世界的視野からの研究は欧米の方の情報量が多い。日本語で発明(?)した単語は世界に通用しません。だから、言い回しも;
Speak as they speak.を学ぶ(これは、訓練を超えた学びの領域です。)必要があると思います。

英語力をつけるには分かっている分野をやった方が良く、と言いました。同時に、何か学びたいテーマがあれば、持続する上に、英語は道具として使うものだという実感が湧くと思います。それが、さらに英語力を自然に強くすることになります。温暖化は世界のテーマです。英語を何に使うにせよ、今はその知識があったほうが良いように思います。学びと訓練を同時にする分野として最良かもしれないと思います。

私が述べた訓練方法に、けっしてマイナスはないと思いますので、皆さんの今のご努力にプラスで考えてください。ひとりでもふたりでも役に立ったと思っていただければ、幸いです。

また、温暖化を勉強しながら、同時に英語力を高めようとするなら、私もその一員です。皆さんと何か一緒にできるかもしれないと願っています。

お読みいただき、ありがとうございました。

追加:

1. ぶつ切り英語の読み方

ホームページのクリックから開いた文書をここにも掲載します。英語は論理的な言葉と言われますが、それがよく分かると思います。読む、書く、話す、すべてについてこの論理構成を理解すると確実に英語の訓練方法が変わるし、上達が早くなると思います。

頭からぶつ切りで読む

下記の短い文章はニューヨーク・タイムズの記事の一部です。

Dr. Schlesinger is an atmospheric scientist and engineer /at the University of Illinois at Urbana-Champaign /who for three decades has been studying /human influence /on climate and what to do about it.

私たちは、上の文章を、who 以下を先に訳して、“シュレシンジャー博士は、気候に対する人類の影響とその対策を 30 年にわたって研究してきたイリノイ大学の大気科学技術者です”と読むよう訓練されてきました。

翻訳業でないから、そのような読み方は無用です。つまり/で切った順序で読むと下記のようになります。そして、自動的にあなたの脳は質問を發します。それが()内、次がその答えです。

1. シュレシンジャー博士は、大気科学技術者(どこの?)
2. イリノイ大学
3. 30 年間、研究してきた(何を?)
4. 人類の影響を(何に対して?)
5. 気候とその対策を

1 から 5 の順序で理解すれば良いだけです。日本語の文章を作ろうとすれば、あなた目は後ろに行ったり、前に戻ったり、それを繰り返します。そんなことをしなくとも意味は分ります。読むスピードが遅くなります。情報を知ろうとするのに、日本語の文章を作ろうとするばかりに遅くなる。無駄ではありませんか?

さらに、話す、聴く、書く、そのいずれにもこの英文の構成、つまり、()内を考えるようになっているということを知ってください。これが、あなたの読みながらの反応力をつけるために必要なことです。

もうひとつ、例を上げておきましょう。

he has also become /a strong advocate for /restricting emissions of /greenhouse gases /to reduce the risk of /dangerous climate destabilization.

“彼は、危険な気候不安定性のリスクを小さくするために温室効果ガス排出制限の必要を訴える強力な提唱者にもなった。”

1. 彼は、なった(何に?)
2. 強力な提唱者に(何の?)
3. 排出を制限する(何の?)

4. 温室効果ガスの(何のために?)
5. リスク削減のために(何の?)
6. 危険な気候の不安定性

もし、あなたが advocate という単語を知らないとしても、つまり、2 が分らないとしても、他のぶつ切りの意味が分れば、推察できませんか？

耳の訓練で、単語をバラバラに聞こえてくるように訓練をする大切さもここにあります。聞き取れない、分らない単語があると、そこで頭は真っ白、その後が全然聞き取れなくなります。ぶつ切りのひとつでも分るとあなたの頭は推察しようと働きます。そして分らないぶつ切り部分や単語がどこか分ります。これが、すごく大事です。

前の例で、at Urbana-Champaign というのがありました。大学のキャンパスか学部のことと推察すれば、普通の人にとってそんなこと気にする必要がないと分ります。

2. 辞書に関する訓練環境

Mixi の英語のサークル(コミュ)で、辞書論議が盛んです。私も辞書が好きだったことはどこかで書いたと思います。

今は、ずいぶん便利になり、オンラインでほとんどが事足ります。

それぞれご自身のやり方でおやりになれば良いと思いますが、私の環境だけをご参考までに書いておきます。

基本的に使うものは、以下の二つです。

英辞郎(アルク社 CD-ROM)

これは、画面の文章の単語をペーストして、コピーをクリックすると項目が出てきます。便利です。難点は、ひとつだけ。たとえば新聞記事(オンライン)をワードにコピーしようとする、英辞郎が現れるので、時にはいらいらすることがある。

自動検索をオフにする必要がある。その手間はかかりません。その操作をうっかり忘れて、いらいらすることが多いだけです。

スペースアルク/オンライン辞書

アルク社はすごいと思います。感謝です。こっちは無料で使える。ただし、ペースト/コ

ピー機能はありません。

でも、なぜか好きで使います。例文が豊富で助かります。

下記URLを開いてデスクトップに保管すると便利です。

<http://www.alc.co.jp/>

この二つがあれば、ほとんど大丈夫です。

私は、技術的な文章を読むので、先端技術用語は普通の辞書にない場合があるので、その場合は、**ウィキペディア**の英語版です。これもすごい。7-8年前までは、マグローヒルの「科学技術用語大辞典」の日本語版、英語版を持っていましたが、技術の進展が早すぎてとても網羅できない。

http://en.wikipedia.org/wiki/Main_Page

もう10年ぐらいにもなるでしょうか、Websterがオンラインで無料の英英辞書があったのですが、有料になってしまったことを記憶しています。今は、オンラインでも各種豊富にあると思いますので、ご自身にあったものを探されると良いでしょう。

数字で、何乗とかはなかなか分らないと思いますが、そのようなものを集中的に乗っているものがあります。下記のURLです。

<http://www.websters-online-dictionary.org/translation/Japanese+%2528Mix%2529/>

今、携帯電話をパソコン代わりに使っている人もいると思いますが、これについて私は言うべき何物もありません。分りません。

簡単ですが、以上です。

TOEICでは役立たない：だれにでもできる英語力向上の秘訣

<http://p.booklog.jp/book/41537>

著者：Hideo, Japan

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hzwatanabe/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41537>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41537>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.